

打放しコンクリート保護クリヤー仕上げ

kikusui
F★★★★

RCカラーレイヤーS i

水系

艶有

艶消し

「RCカラーレイヤー」は、打放しコンクリートの持つ質感を生かし、コンクリート構造物を酸性雨、中性化等から保護するカラークリヤー工法です。



特長

①低汚染性

コンクリート表面にクリヤー被膜を形成することにより、打放しコンクリートの保護と共に美観を長期にわたり維持します。

②高耐候性

強靱な塗膜が建物を風雨や紫外線などから長期にわたり保護します。

③防藻・防カビ性

壁面に発生するカビ・藻の発生を抑制するとともに、カビ・藻による塗膜の劣化を防ぎます。

④中性化抑止

外部からの雨水の侵入を防ぎ、打放しコンクリートの中性化による劣化を抑止します。

⑤省工程

下塗り1回上塗り1回の塗付だけで仕上がります。

下地補修

巣穴埋め・段差調整など、下地調整が必要な場合は、白色系補修材として「ライトセメントB0」を推奨します。また、既存塗膜へ施工する場合は、下塗りに「リニュープライマー」をご使用ください。

※巣穴(ピンホール)は、降雨時の濡れ色、劣化の原因となります。出来る限り、ポリマーセメントモルタルにて充填補修願います。既存塗膜へ施工する場合は、施工前に下塗りの密着試験を行って下さい。

標準10色

RCL-01(クリヤー) RCL-02(ホワイト) RCL-03(グレー)
RCL-04(ブラック) RCL-05(ブラウン) RCL-06(ブルー)
RCL-07(ピンク) RCL-08(グリーン) RCL-09(イエロー)
RCL-10(オレンジ)

※カラークリヤーは、既存素地色や塗回数・塗付量により色調が異なります。施工前に、必ず見本塗りを行ってください。

カラーバリエーション

RCL-01

RCL-02

RCL-03

RCL-04

RCL-05

RCL-06

RCL-07

RCL-08

RCL-09

RCL-10

カラークリヤーは、下地の状態(粗密度・残存塗膜及び撥水剤の有無・含水率・補修の有無・劣化度合い・コンクリート・成形板等)により、発色が変わります。又塗布量の違いにより濃さが変わってきます。発色は塗布量に比例して濃く発色し、時間を経過した塗り重ねはそのまま塗布量が多くなり、重なり部分が濃くなります。施工の場合は下記に注意し施工管理を実施願います。

①施工前に、試験塗りをし、発色を確認してください。②ローラー施工の場合、塗り重ねに注意し施工願います。③ローラー施工の場合、ネタ含みを均一に管理願います。④ダレの発生はそのまま発色に影響しますので注意してください。⑤作業の中断は、出隅、入隅、目地、パネル間等で確保願います。⑥色ムラ防止には、スプレー塗装を推奨します。⑦標準仕様の下塗り1回、上塗り1回工程を上回る塗回数にはコストと発色が異なりますので事前に協議の上実施願います。⑧改修下地の場合の下地処理については、弊社営業に相談願います。

※イメージ画像の為、実物とは異なります。

標準施工仕様

工程	材料・割合		施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。汚染がひどい場合、高圧洗浄機にて水洗いし乾燥した清浄な面とします。					
下塗り	R Cカラーレイヤー 下塗	主材：16 kg 無希釈	刷毛 無泡ローラー	1	16 以上 72 以内	160~200 m ² /16kg 0.08~0.10kg/m ²
上塗り	R Cカラーレイヤー S i	主材：15 kg 清水：0.7 ~ 1.5L	エアレススプレー 無泡ローラー	1	—	100~125 m ² /15kg 0.12~0.15kg/m ²

- 注1 施工用具・条件は代表的なものです。施工条件により、各々多少の幅が生じることがあります。
 注2 下地の吸い込みの違いによって下塗材の所要量が多くなる場合があります。
 注3 R Cカラーレイヤー S iは一度で厚塗りせず、吸い込みを確認しながら膜厚を均一に塗り重ねてください。色調を濃くする場合は塗り回数を増やし、間隔時間は工程内3時間以上で施工してください。
 注4 施工に使用するローラーは下塗りと上塗りを兼用することを厳禁とします。
 注5 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。
 注6 押出成形セメント板に施工する場合は、下塗りとして「リニュープライマー」をご使用ください。
 注7 下地の吸い込み差や塗り重ねにより、色むらに見える場合があります。

用途

住宅・ビル・マンション・店舗・事務所・
 その他一般建築物の仕上げ

適用下地

コンクリート・モルタル・ブロック・押出成形セメント板
 ※押出成形セメント板は、下地の吸い込み差や塗り重ねにより、色ムラに見える場合があります。

荷姿

- 水性シラン系浸透性吸水防止剤
 R Cカラーレイヤー 下塗 16 kg/缶
- 水性アクリルシリコン樹脂クリヤー
 R Cカラーレイヤー S i 15 kg/缶 (艶有/艶消し)
 ※発注の際、艶を指定してください。
- しごき仕上用プレミックスモルタル
 ライトセメント B O 20 kg/袋
- 2液弱溶剤形アクリルシリコン樹脂系下塗材
 リニュープライマー 8 kg/セット

注意事項 (R Cカラーレイヤー)

【施工上の注意事項】

- ◀下地▶
 ○下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
 ○かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白剤「K S クリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
 ○水洗い後は晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。下地の乾燥が不十分の場合、塗膜の白濁、水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなります。
 ○内部での施工の場合、汚染物の除去は水を含ませた清潔な布で拭き取り後、乾いた布で乾拭きして乾燥させてください。汚れがひどい場合は水で中性洗剤を薄めて拭き取ってください。
 ○下地の劣化が著しい場合、施工は避けてください。
 ○無機塗料、特殊下地への塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
 ○合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。
 ○可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
 ○蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の剥離、剥離が生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。
 ○大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
 ▶環境▶
 ○塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨等)塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
 また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
 ○外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
 ○絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
 ○直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
 ○施工時は換気を十分に行ってください。
 ▶施工▶
 ○施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
 ○施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
 ○乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
 ○塗料は、均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
 ○材料の希釈量は、所定の希釈量範囲内、所定の所要量で事前に試験塗りなどを行ない決定してください。希釈の過多、不足はタレや隠れい不足、仕上がりムラの原因になります。
 ○各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
 ○色の検定に当たっては事前に見本板を確認してください。
 ○被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所でも起こる場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りでください。
 ○既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様をバターン合わせを行ってください。
 ○傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
 ○他の材料と混合して使用しないでください。
 ○水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。
 ○使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
 ○溶剤系の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
 ○シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜の汚染、剥離、収縮割れなど不具合

- を起こすことがあります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
 ○磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。
 ▶材料▶
 ○つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装でムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。
 ○つや調整品は、塗料が分離しやすいので、良くミキサーで混ぜながらご使用ください。
 ○希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
 ○防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
 ○施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
 ○施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になると、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。また、艶消し品や濃色品では低温時、湿度が高い状況下などで塗膜に艶が出たり、白濁、塗膜中成分の流出が起こる場合があります。
 ▶保管▶
 ○直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。

- 【安全衛生上の注意事項】
 ●製品の取扱について一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート：旧 MSDS)を参照してください。
 ●取扱後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
 ●適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
 ●目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
 ●誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
 ●エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
 ●皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
 ●粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 ●日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
 ●開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態でご密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
 ●缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
 ●子供の手の届かない所に保管してください。
 ●塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

*本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。
 施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。



本社 / 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
 ☎052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



東京支店 ☎ 03-3981-2500 関西支店 ☎ 06-7668-5320
 名古屋支店 ☎ 0568-69-5200 福岡支店 ☎ 092-935-4610